

## 第4回「あび北フォーラム」会議議事録（要約版）

1. 開催日時： 平成30年5月20日（土） 13：15～17：15
2. 場所： 我孫子北近隣センター
3. 参加者： 「第4回地域会議（2018.5.20）出席自治会リスト」参照  
（自治会等41人、事務局12人、市役所3人 計56人）

### 4. 議事

#### （1）開会宣言（事務局）

地域会議の名称を「あび北フォーラム」に変更した旨の報告があり、式次第にそって会議を進める旨の開会宣言が行われました。

#### （2）挨拶

##### ①「あび北フォーラム」事務局長

- \* 「あび北フォーラム」の昨年の第1回～第3回の活動成果を取り纏めて配布しました。そこには今後の方向付けを含め、これまでの会議の様子を全て纏めてあるのでご一読頂きたい。
- \* 今回は、新年度に入り最初の会議ということで新任のメンバーが数多くおられるので、最初に前回までの会議で話し合われた問題・課題の共有を図って頂きたい。情報を共有することが何をやるにしても最も重要になるので、よろしくお願いします。
- \* 「あび北フォーラム」では問題・課題の解消まで進めることを目指しています。今回の議論が、問題・課題の解消に繋がっていくことを期待しています。

##### ②市民活動支援課長

- \* 我孫子市内の各地域にはそれぞれの多様な問題点が有ろうと思います。地域会議では地域が抱える課題を発掘し、議論をして頂き解決して頂きたい。
- \* 地震が発生したら、市役所は当初は被災状況の情報収集にならざるを得ず、市民の方々の共助が重要となってきます。
- \* この「あび北フォーラム」は昨年5月に立ち上がり、その活動は目を見張るものがあります。市としては「あび北フォーラム」の決定事項は重く受け止めますので、積極的なご提案を期待しています。

### (3) グループ討議の参考情報の提供 (事務局)

グループ討議に入る前に、事務局より以下の情報共有が行われました。

- ①第1回～第3回(前回)までの地域会議(あび北フォーラム)の内容
- ②4月下旬に実施した地域会議(あび北フォーラム)参加団体へのアンケート結果
- ③ビデオによる「自助・共助の重要性」の再確認

### (4) グループ討議 (2時間)

前回(第3回)と同じグループ割りで、前半は、グループメンバーの一部交代を踏まえ、これまでの会議で出た防災についての自助・共助・公助での問題・課題の共有化をはかり、後半で、今後の活動として何から始めるかを討議しました。

### (5) グループ討議の結果報告

#### ①A グループ

各自治会の地震時の対応の取組み内容などの発言がありました。

それらの内容を纏めると、

- ・各自治会での取組みには大きな差があり、それを打開するにはどうするか
- ・各自治会の体制(メンバー)が毎年代わることを考慮すると、共同で何かに取り組むことを(直ぐに)実現することは難しい
- ・各自治会で計画されている訓練などの取組みに順繰りに参加するのは可能では
- ・個人、自治会、地域等それぞれのレベルでの取組みの整理が必要
- ・避難場所(根戸小・並木小)までの避難経路(危険箇所)を点検するなどはどうか

ということでした。

可能なところから始めていこうということでした。

#### ②B グループ

年度が代わりメンバー交代があったので、前回までの会議で出た問題点・課題の共有を図りました。今後、対策を具体的に話し合っていきたいということでした。

また、避難所運営委員会があるのを初めて知った方はもちろん、あるのは知っていた方も含め、参加者全員が運営委員会の役目とその委員会の構成員の選出は平時にしておくなどについては知らないことがわかりました。

次回(9月)の地域会議(あび北フォーラム)では、

- ・自助の対応力を高めていくために自治会単位でできる活動の具体化

- ・避難所開設・運営（避難所運営委員会の役目）がイザというときに直ぐに立ち上がるために平時にしておくことを討議することにしました。

### ③Cグループ

当グループでは、特に要介護者リストの取り扱い方法についての質疑が多くありました。また、住民の防災意識を高めるにはどうしたら良いかということも議論になりました。これらを踏まえ、次回（9月）の会議では問題を掘下げて討議することにしました。

### ④Dグループ

当グループでは、各自治会での特筆する取組みなどを紹介し、情報共有をしました。

<紹介された取組み内容は以下>

- ・要介護者リストの活用方法として、マンションでは車椅子利用者と健常者別の避難ルートを決めている。
- ・安否確認では、ドアにマグネットカードで「OK」サインを出す方法をとっている。
- ・高所からの避難訓練に「はしご車」を呼んだら、多くの住民の関心を引き、盛況であった。
- ・お助け隊に、高齢者世帯から家具の転倒防止器具の取り付け依頼があった場合、支援して設置したものが災害時に万が一倒れるようなことがあると困るので、その時は業者を紹介している。
- ・「災害時（停電時）」に非常用の「明かり」を、非常用の発電機で点灯できるようにし、安全・安心を確保している。
- ・近隣の防災組織と共同で、防災用品の合同頒布会が実施できれば良いということで検討している。

Dグループには、一戸建ての方々とマンションの方々がおり、マンションでは在宅避難を原則としていることから（地震での）避難訓練をしていないなど、戸建ての方々とは取組み内容に異なるところがあるが、地域内には避難訓練をしている自治会もあるので、今後、一緒に避難訓練を行うことも検討することにしました。

## （6）事務局長閉会挨拶

今回の会議で問題点・課題の再整理が出来たと思います。これらを9月に開催予定してい

る本年二回目の「あび北フォーラム」で具体策を検討していければと思います。ここにお集まりの皆さまには次回も是非参加して頂けますようお願いいたします。今日はお疲れ様でした。

以上